

## SAVE TAKATAは陸前高田市の復興協力に全力を尽くします。

SAVE TAKATAは、2011年3月11日に発生した東日本大震災および大津波によって甚大な被害を受けた陸前高田市の復興を協力するために、都内在住の20代～30代の同市出身者が中心となって設立した非営利団体です。

地震・津波発生直後、家族の安否を案じ、単身故郷へ戻ろうとしていた数人の元同級生たちが連絡を取り合っているうちに、「一人で行くよりまとまって行こう」「行くなら救援物資が必要だ」「情報を共有して効率良く現地へ向かおう」と自然にチームが出来上がったのが始まりです。

陸前高田市（＝TAKATA）を救出せよ（＝SAVE）というミッションのもと、震災発生直後からチームを組んで現地に入り支援活動を行い、webやSNSを用いて全世界に情報を発信してきました。そしてその過程では、言葉では表すことのできないたくさんの辛い体験をしました。

しかし、その過程でそれぞれの友人・知人の協力を得ることもできました。現在は高田出身者だけでなく、多くの有志によってSAVE TAKATAが構成されています。また同じように地元陸前高田の復興の為に行動している多くの方々、被災地に物資を送りたいという各地の方々にもご協力いただいております。

私たちは、物資の輸送や現地でのボランティア活動などの実質的な協力のほか、陸前高田のために動いている人達や現地で自力で立ち上がりようとしている人達が繋がる手助けをしてまいります。そして陸前高田市の復興と発展に、数十年のスパンで寄与していくことを考えています。

### ■組織概要

- ・ 名称 一般社団法人SAVE TAKATA
- ・ 設立 2011年6月13日（任意団体としては2011年3月11日から活動）
- ・ 東京事務所 〒155-0033 東京都世田谷区代田1-32-11 Ozawa Heights 301
- ・ 東京事務所 統括 佐々木 信秋
- ・ 陸前高田事務所 〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町大隅76-2
- ・ 陸前高田事務所 統括 岡本 翔馬
- ・ ホームページ <http://savetakata.org/>
- ・ SNSアカウント facebook <http://www.facebook.com/SAVETAKATA>
- ・ twitter [@SaveTakata](#)

### ■在籍メンバー

SAVE TAKATAには多種多様なメンバーが在籍しています。Skypeやmixi、facebook、Twitterなどあらゆる方法で連絡を取り合い、東京のみならず、日本中、果ては世界中のメンバーと協力しながら、陸前高田市に対する復興協力活動を続けております。

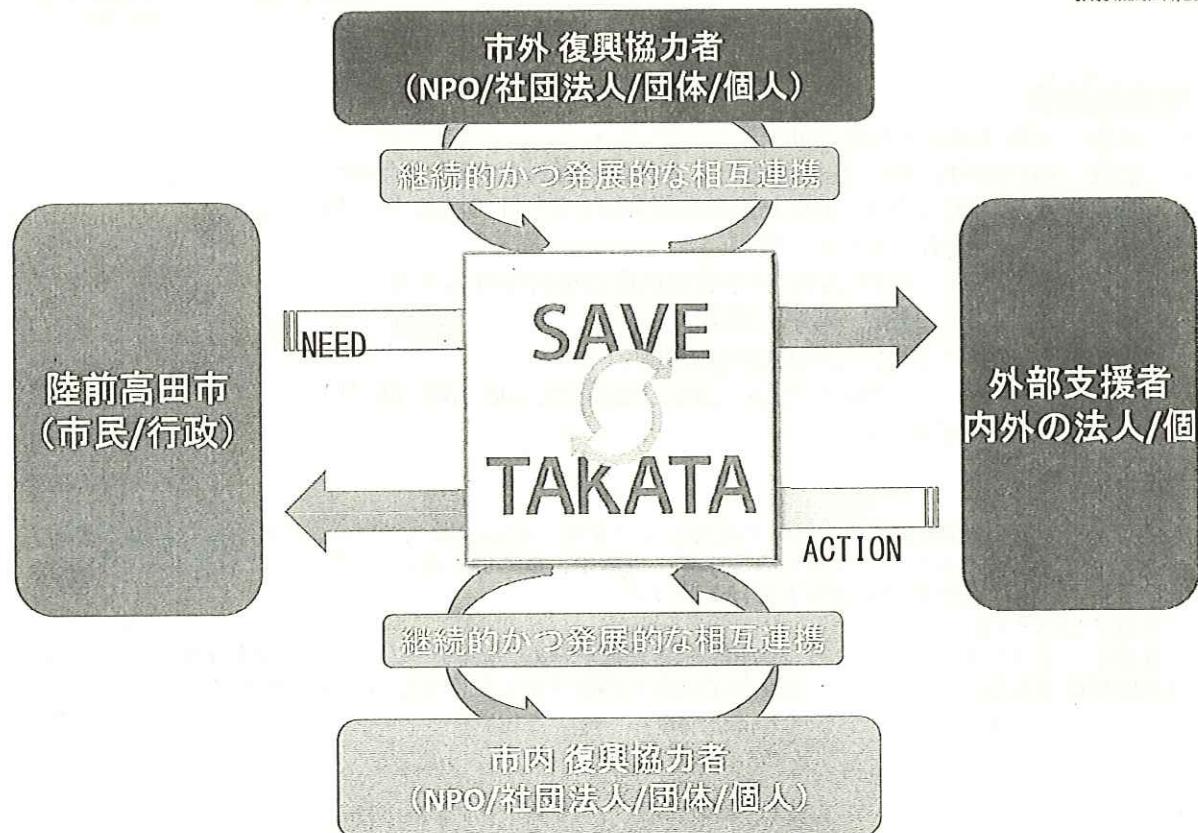
- ・常勤メンバー4名
- ・非常勤（ボランティア）スタッフ約40名：事務局チーム、webチーム、プロダクトデザインチーム、情報発信の多言語化チームなど、協力者の得意分野を活かした活動を行っています。

## ■ SAVE TAKATA 支援活動実績

- 陸前高田市は関東圏から約500kmと気軽に移動出来る距離ではありません。通常のマスメディアやWEBからでは現地の情報が十分に把握出来ない部分も多々ある状況です。そこで、市外の皆さんのが同市で円滑に活動できるよう、私たち出身者がお手伝いさせて頂いています。企画段階からの参加から事前のニーズ調査や会場選定、フライヤー配布などを代行、震災直後から続く活動の一つの柱です。コーディネートと言っても対応範囲は多岐にわたります。支援イベントや慰問コンサートといったものから雑誌・映像などの取材アテンド、更には事業ドメインでの経済活動まで幅広く対応しています。
- 活動実績概要
- 震災直後の緊急支援：物資の提供、運搬、現地のボランティア活動等。受益者約4,000人
- webなどでの情報発信：受益者数約200,000人（ユニークユーザー数）
- イベント運営支援：約50回 参加者計30,000名
- 他団体のWebサイト作成、広報：実績3件



## ■ SAVE TAKATA の基本スキーム



## ■現在進行中のプロジェクト

コーディネートプロジェクト 担当:岡本/陸前高田オフィス

市内での支援要素を強く含む活動をサポートするプロジェクト。陸前高田市の方と活動をお考えの方を繋ぐコーディネーターをさせて頂いています。ニーズの掘り起こしから会場用地の選定確保、そして開催迄の現地タスクを代行します。また市内視察等のアテンド業務も承っています。

- ・studio SORA様「自分でつくる結婚指輪」「みんなでつくるともだちリング」
- ・STUDIO D.O.G様「STUDIO D.O.G Volunteer」
- ・九州産業大学「希望の灯りプロジェクト」
- ・早稲田大学 法学部ゼミ研修 市内視察アテンド
- ・月刊WizBiz編集部様 取材アテンド 等



## ■現在進行中のプロジェクト

- ・みずプロジェクト:担当 香川/岡本

仮設住宅では、震災後に掘った井戸から水を汲み上げ浄化する方法か、市水道から取水する方法で生活用水を供給し飲料検査にも合格しています。

しかし一方で沈着物や風味に違和感があるなど、いまだ不安を訴える方が少なからずいる状況が続いております。小さなお子様のいる家庭では特に顕著でPETボトルの水を飲料としている家庭も少なくありません。

この水への不安を取り除く事、継続的な新しい地域事業の創出を目的として要望のあった仮設住宅へのRO浄水器の設置を行います。

陸前高田市の約2200の仮設住宅を対象に要望アンケートを実施し、その結果を受けて地域水道事業者と提携して設置を行います。そして今後継続的に発生する浄水器のメンテナンス業務を地域水道事業者と構築してまいります。



## ■現在進行中のプロジェクト

### ・東北UPプロジェクト:担当 岡本/佐々木

<http://www.ms-tohoku-up.jp/>

日本マイクロソフトと共同して、「雇用」の課題解決のためITスキル講習と就労支援プログラムを実施し、被災者の雇用可能性の向上を支援しています。

本団体は運営パートナーとして関わっています。先日、仙台市内でのトレーナー講習に参加。次回は三月に品川にて資格試験が行われる予定です。



### ・オフィスシェアプロジェクト:担当 岡本/佐々木/松原

12年5月に開店予定の仮設商店街にて、地域外の企業、NPO、個人等にオフィス機能を提供することによる地域経済活性化、新規事業創出、起業支援などを行います。現在、すでに3社が試験的に入居、事業モデルとノウハウを構築中です。

## ■現在進行中のプロジェクト

### ・陸前高田市応援ちゃんねる

:担当 岡本/陸前高田オフィス/東京オフィス

<http://ch.nicovideo.jp/channel/savetakata>

株式会社ドワンゴ様よりシステム提供を受けて、マスマディアに無い地域情報を発信しようとスタートした「視聴者参加型」情報ツールです。今現在の陸前高田の様子をはじめとして地元のお祭りや地元商店の復活などにスポットを当て動画の発信を行っています。

みんなでつくる  
陸前高田市 応援ちゃんねる



### ・新店舗MAPプロジェクト :担当 岡本/陸前高田オフィス

陸前高田の商店が仮設店舗で営業を再開しても、生活範囲外だと思いつのほか知られていない事があります。そんな問題を解決するために生まれた神奈川金太郎ハウス様がスタートさせた「新店舗MAP」。4/1よりSAVE TAKATAが引き継がせて頂くことになっています。今まで以上に情報を充実させて最終的にはタウン誌の制作の事業化を目指します。市内の方はもとより、陸前高田を訪れる全ての方に陸前高田の「今」を発信していく予定です。

## ■現在進行中のプロジェクト

- ・桜ライン311 :副代表として岡本が参加

<http://sakura-line311.org/>

津波の被害を後世に伝えるため、市内の津波浸水ラインに沿って桜の苗を植樹する活動です。SAVE TAKATA、陸前高田市青年団体協議会、難民支援協会との共催によりスタートし現在法人化に向けて準備中です。



- ・大実験教室展プロジェクト  
:担当 岡本/佐々木

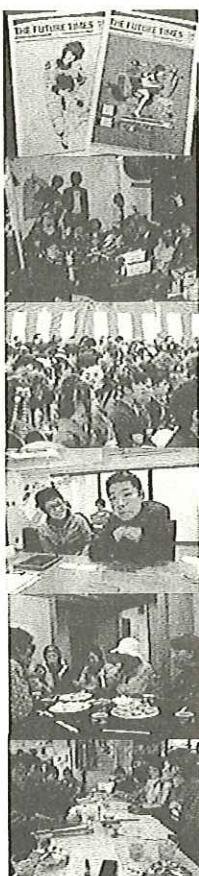


2012年4月28日(土)に陸前高田市内高田小学校にて、子どもならびに教育関係者向けに、各企業が共同し実験教室を行いうイベントを開催します。主催は株式会社リバネス、後援は陸前高田市及び市教育委員会。協賛企業として井筒まい泉株式会社、積水ハウス株式会社、エプソン販売株式会社他数社が検討中です。本イベントを毎年開催することで継続した教育を目指します。また企業と同市の協力体制が生まれ企業誘致や産業創出につながることも期待しています。

## ■継続可能な支援に向けて

緊急支援として震災直後から活動しているSAVE TAKATAですが、もうじき一年を迎えるとしています。

変わっていく陸前高田のニーズに併せて活動を継続してきましたが、今後のポイントは大きく分けて以下の4点だと感じています。



- ・地元の団体による外部支援の連携/引継ぎと継続
- ・地元の人的リソースの確保
- ・中長期的な活動の為のスキームの策定
- ・震災以降に出来上がった地元団体の資金調達

上記の解決策の一つとしてSAVE TAKATAでは「継続的な支援」を施策として行っています。それは「地元の方と陸前高田の問題を解決する」という通常のスタンスに加えて「事業化」に着手すること。

今までの活動に加え「経済」が回るような仕組みを作らなければ、地元の団体も活動出来なくなります。そして支援が必要な方に支援が届かなくなってしまいます。

陸前高田だけではなく沿岸地域全体が「震災以前より更に愛される街」になっていける様、日々活動を続けていきます。  
ご協力宜しくお願い致します。

SAVE TAKATA オカモトショウマ